

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	令和元年度第 11 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事 務 局 (担 当 課)	小金井市ごみ対策課		
開 催 日 時	令和 2 年 2 月 26 日 (水)		
開 催 場 所	小金井市 中間処理場		
出 席 者	委 員	<出席者：9名> 岡山会長・大江委員・石田委員・石原委員・黒須委員・齋藤委員 多田委員・林委員・岸野委員 <欠席者：6名> 渡辺副会長・土屋委員・星野委員・山田委員・堀越委員・波多野委員	
	事 務 局	小野ごみ対策課長・花野ごみ処理施設担当課長・石阪中間処理場担当課長・大久保・高田・高花	
傍聴者の可否	可	傍 聴 者 数	0
会 議 次 第	1 開 会 会議録の確認について 2 議 題 (1) 小金井市一般廃棄物処理基本計画について (2) 令和 2 年度小金井市一般廃棄物処理計画について 3 その他		
会 議 結 果	別紙審議経過のとおり		
提 出 資 料	別添のとおり		
そ の 他			

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	これより令和元年度第11回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。 本日の欠席委員について、渡辺副会長、土屋委員、星野委員、堀越委員、波多野委員より、欠席の連絡を事前に頂いている。 それでは次に、本日の進行及び配布資料についての確認を求める。
大久保減量推進係長	(配布資料確認)
岡山会長	第8回と第9回会議議事録について、意見・修正があれば申し出ていただきたい。特になければ、事務局にて公開手続きに入る。 続いて、小金井市一般廃棄物処理基本計画(案)のパブリックコメントへの意見に対する検討結果について、説明をお願いします。
大久保減量推進係長	(資料の説明)
岡山会長	事務局からの提出資料の説明について、意見・質問はあるか。
大江委員	建設的な提案が多数出されているが、それに対する検討結果が何も記載されていない。今後、頂いている提案を、処理計画策定の際に取り上げていくことを記載した方がよい。「また、建設的なご提案については、処理計画に反映させられるか検討していく。」という一文を、個別にではなく前段に入れてはどうか。
林委員	良いと思う。可能な限り年度計画に反映させるという一文はあってもよい。ごみゼロ化推進員の活動にも落とし込んでいく。
岡山会長	20番、21番について、「個別に・・・参考とさせていただきます。」と記載している。市としては重点項目であると捉えているのでこのような書き方になっているのであり、全体を見ても、頂いた提案については、全て前向きに検討している。「処理計画に反映させる」あるいは「積極的に調査研究を進めていく」

(審議過程) 主な発言等

大江委員	と個別にも書いているが、全体的にも記載した方が良いということか。
大江委員	記載した方が良いということである。提案が多く具体的である。提案が一律に無視されたのではなく、全体として配慮をかけておけば、前向きに受け止められたと感じるのではないか。
石田委員	総括的に可能な限り簡潔に記載できれば良いと思う。
大久保減量推進係長	フォーマットが決まっているところもあるが、処理計画を作る中で検討させていただくことになると思うので、それを踏まえて内部で調整を行う。
岡山会長	では、その一文を加えた上で、パブリックコメント回答とさせていただきます。小金井市一般廃棄物処理基本計画（案）のパブリックコメントの意見に対する検討結果についての審議はここまでとする。意義はないか。 (承認) それでは、この後は会長・副会長に一任していただき、事務局と調整の上、公開の手続きを進めさせていただきます。 続いて、小金井市一般廃棄物処理基本計画（案）の修正案についての説明をお願いします。
大久保減量推進係長	(資料の説明)
岡山会長	事務局からの説明に対して、意見・質問はあるか。
大江委員	本編でSDGsに触れたのはどこか。
大久保減量推進係長	2ページで触れている。
大江委員	資料編第4節、17のSDGsゴールをアイコンで入れたときに、ゴールタイトルを、「こういうタイトルだが本計画ではこういうものと関わります。」としないと市民にとってわかりづらい。

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	例えば、ここで環境教育は何かと説明するにあたって、本来のゴールを出して、関わり合いを示した方が親切である。
岸野委員	言い換えてしまっているため、12番が一番分かりづらい。
大久保減量推進係長	SDGsもまだまだ浸透していない。行政として取り上げるのであれば、もう少し親切に記載されていた方が良い。
石原委員	アイコン横に説明と取組について記載するようにする。
岡山会長	アイコンの右側の文書は、国によるものか。
林委員	これは事務局で作成したものである。 ひとつひとつを説明することはできないので、アイコンの上段に目標の内容を記載すれば良いのではないか。
大江委員	目標のアイコンと77ページの説明はつながっているのが良いのではないか。
石田委員	アイコンが解説には結びつかない。アイコンのゴールと本計画との関連性を明確にするため、アイコンの右横に解説を追加して頂きたい。
大久保減量推進係長	資料編なので、意味を記載することが趣旨である。SDGsを知らない人にとって、これが世界共通の認識なのか、市としての取り組みのポイントなのかということがわかるように明記すれば良いと思う。個別の専門的な内容までは、記載しなくて良いと思う。 本計画とSDGsの関係を77ページで示しており、市としての思いを記載しているつもりではあるが、読みやすいよう文字を大きくしたうえで、もう少し分かりやすい記載にする。 ゴールのタイトルを記載するか、ゴールの意味合いを説明した文章を加えたほうがいいのか、バランスを見て検討したい。

(審議過程) 主な発言等

林委員	SDGsについて全く知らない人が読むこともあると思う。詳細を記載する必要はないが、ゴールタイトルと合致した解説になっているかどうか、内容を検討した方が良い。
大江委員	ご指摘の通り、この文章が誤解を与える懸念がある。全てに関わりうるものだと明記した上で進めるべきである。
多田委員	例えば、4は環境教育、6は下水処理政策、7はエネルギー政策、11は都市環境保護等、表題を付ければ分かり易くなるのではないかと。
岡山会長	多田委員ご指摘のようにタイトルをつけても良いと思うし、目標と関わる具体的な施策を記載しても良いと思う。 SDGsは相互に関連しているため、一つのゴールに限定して結びつけることは難しい。 具体的な事業で言えば、12番に関わりが深いのは、生ごみ投入、くつ・かばんの拠点回収などが考えられる。12番は3Rそのものであり、説明の方を簡単にしたほうが良い。 14番については、14-1だけが海洋プラスチックであり、あとは海洋自然保全である。 プラスチック焼却によってCO ₂ が発生して温暖化が進む。プラスチックをきちんとリサイクルし、発生抑制も行うことは、13番気候変動の対策にもつながるので、13番も記載しなければならない。
石田委員	1項目に限らず3つ、4つと関わってくるため、説明を始めるときりが無い。「小金井が取り組んでいるのはこれです」と事例を示したときに、それが項目の説明であると錯覚を起させないように注意をしなければならない。
林委員	ページを読んで理解できることが大切である。もう少し丁寧に書いたほうが良いかもしれない。
石田委員	代表的な事例として、誤解を与えないような文章を冒頭に加えれば良いと思う。市としての取組、関わり合いの例を記載すれば良い。

(審議過程) 主な発言等

大久保減量推進係長	実現に向けた市の取り組みとして書いているので、「本計画における」などに入れさせていただき、わかるようにする。
石原委員	基本的に、例えば、4は「環境教育の充実」など、一言・二言の簡潔な表題で十分ではないか。
岡山会長	冒頭の2行を充実させて、本計画が定める施策とSDGsの17項は相互関係にあり、特に関係の深い項目とその実現に向けた計画と取組の具体的な計画について入っていれば良いと思う。
石田委員	誤解を生まないための言い方が必要である。この場合に限定している、ということを明記したほうが良い。
林委員	本文51ページ(1)浅川清流環境組合の関連で、追加した文章の趣旨はどのようなものか。
花野ごみ処理施設担当課長	覚書では、「稼働後、適切な時期より、構成団体間で共同処理について再度協議し、引き続き構成団体に施設整備及び運営する場合には、次期、新施設の設置場所は日野市の区域外を基本とする。」とある。進め方も含めて、今後構成団体間で検討を開始する時期が来るため、表現としては盛り込みたい。
石原委員	市としての姿勢が盛り込まれた文章で、記載して良いと思う。
岡山会長	他にご意見はあるか。
石田委員	資料編126ページにスペースがあるので、パブリックコメントに対する全体的な総括を入れることはできないか。
大久保減量推進係長	個人的には、パブリックコメント内に総括的な内容を盛り込むよりも、基本計画の資料編に記載したほうがなじみやすいと思う。

(審議過程) 主な発言等

石田委員	誠意を持って対応する、ということをお伝えと良いのではないかと。
岡山会長	パブリックコメントの冒頭に、全体的な総括コメントを入れて誠意を見せるという話もあったが、公表様式の関係等もあり難しいところもあるため、計画の資料編に記載する方針でも良いと思う。126ページに記載できれば良いのではないかと。
大江委員	パブリックコメントの冒頭、概要の最後に記載されるということが良いと思う。
岡山会長	組成分析調査結果についてだが、厨芥類のうち未利用、未開封、食べ残しをグループにしたうえで、食品ロスとして分類していただくと、わかりやすくなる。
林委員	今後はモニタリングしていくのか。
大久保減量推進係長	していこうと考えている。確かに本文の中でも食品ロスの割合を記載しているので、ご指摘の通り修正する。
林委員	83ページ以降の市民アンケートと事業者意識調査についてだが、論評はせずにデータを添付するだけとするのか。調査を実施した際に、論評や評価をまとめた資料はあるのか。
大久保減量推進係長	作成はしていないが、基本計画内にアンケート調査の結果及び結果に基づく取り組み方針を所々で挿入している。
林委員	結果を受けて、市民の意識レベルが明らかになると思う。基本計画では結果を示すだけで良いと思うが、今後、処理計画を作成する際等に活用できると便利だと思うがいかがか。
岡山会長	論評を今から作成することは難しい。基本的に、考察のためのアンケート調査ではなく、データベースのためのアンケート調査である。

(審議過程) 主な発言等

林委員	市民はこれを読み取るしかない。本当ならごみ特集号で「現状ではこんなに少ないから、これをやる必要がある」などとして実施する必要があるのではないか。
大久保減量推進係長	アンケート調査の結果については、組成分析調査の結果のように文章を入れてはいないが、一方で、本編19ページから始まる「本市の抱える主な課題」の中で活用しており、例えば、食品ロスやくつ・かばん類については、アンケート結果を受けて、課題を整理している。
岡山会長	一般廃棄物処理基本計画（案）の修正案の審議はここまでとする。 今回いただいた修正の提案等については、会長・副会長に一任していただき、事務局と調整の上、答申に向けた手続きを進めさせていただく。 続いて、令和2年度小金井市一般廃棄物処理計画（案）についての説明をお願いします。
大久保減量推進係長	(資料の説明)
大江委員	年度の活動目標について、例えばどのようなところを変更しているのか。
大久保減量推進係長	前回お示ししたロードマップの令和2年度活動目標と、審議内容を踏まえて、修正できるところは修正している。
大江委員	10ページ施策表の表記について、重点を上にするのではなかったか。
大久保減量推進係長	基本計画と合わせてこの表記としている。3ページの表記は令和元年度の計画目標であるため前計画に合わせている。
林委員	10ページの冒頭は、【充実】が重なっているように見えるため、「施策表の表記については、【充実】、【強化】、【重点】と区分けしています」としてはいかがか。 それから、成果・活動目標欄には「－」ではなく具体的な文

(審議過程) 主な発言等

岡山会長	言を入れてあるので「一部数値標記が困難な場合は・・・」という一文は削除して良いと思う。
大久保減量推進係長	年度の活動目標について、前回と変わったところは具体的にどこか。
大久保減量推進係長	例えばリユース 2 (1) は「施設の設計及び運用方法の検討」とした。二枚橋の施設設計が始まるが、規模が決まってくれば使い方の検討も具体的に進捗するのを受けてのことである。 あとは、リユース食器 2 (3) 「貸出件数の増加方法の検討、試行」。できる限り実行する市の姿勢を入れさせていただいた。
大江委員	小金井市の元号と西暦の使い分けの考え方はあるのか。
小野ごみ対策課長	かっこで西暦を入れる時もあるが、基本は元号である。
大江委員	平成 31 年と言われると、わからなくなる。
大久保減量推進係長	今年度が非常にわかりにくく、年度当初は平成 31 年度とし、かっこで 2019 年度と入れた。来年は令和 3 年度とし、西暦はなくても良いと考えている。
岡山会長	11 ページ、4 (5) の活動目標「見える化」事業の強化とあるが、具体的には何を指すのか。
小野ごみ対策課長	ごみ減量キャラクターを活用するという方法もある。広報のやり方を検討する。それから、文章を図・写真化でより分かり易く工夫するなどである。
岡山会長	それは広報の工夫であって、施策の見える化事業ではないのではないか。例えば、生ごみの投入、その堆肥を利用して育てた作物を給食に戻す、それを「くるかめ給食」とすれば見える化となる。
大江委員	8 ページ、(2) には最新実績が図表化されているので、(1) の表中、R2 の左にも最新実績を入れていただければわかりや

(審議過程) 主な発言等

大久保減量推進係長	すい。 2ページには最新実績を載せているため、過去の審議会の審議経過を踏まえ記載していなかったが、ご意見の通り、8ページの表にも入れることにする。
林委員	(1)のタイトルはごみ処理計画ではなく、一般廃棄物処理量で統一してはどうか。
岡山会長	一般廃棄物処理量もしくは、ごみ・資源物処理量いずれでも良いが、8ページの表記の「ごみ処理計画」を「一般廃棄物処理計画」として、2ページと整合を図って頂きたい。 また、8ページの(1)は、「一般廃棄物処理計画(量)」としたうえで、平成30年度の実績だけは、実績であることが分かるような表現をして頂きたい。
大久保減量推進係長	それでは、平成30年度の数値を「参考」として入れる。
大江委員	「有害物」というカテゴリーは40トン/年という推移にしているが、清掃事業概要では、「有害ごみその他」というカテゴリーになり、1,000トン/年を超えている。その他には何が入っているのか。 また、有害ごみの中で一番量が多いのは何か。
大久保減量推進係長	その他には、可燃系粗大ごみ、布団、資源化できなかった不燃系粗大ごみ、ガラなどで、有害ごみの中で量が多いのは電池類である。
大江委員	有害ごみは減らしていく対象にしても良いと思う。
岡山会長	清掃事業概要17ページを見ると、有害物40トンとあり、内訳は電池29トン、蛍光管11トンとなっている。 電池と蛍光管を減らしていく対象とすると、蛍光管はLEDに置き換わってきているので、傾向はわからないが徐々に減っていくのではないかと。市としては、LED交換を促していくほうが良い。

(審議過程) 主な発言等

大江委員	40トンをどう評価するのだが、有害ということが気になる ところなので、減量する方向へ考えるべきである。
岡山会長	破碎選別処理後、718トンは資源化できておらず、その他 の施設に集められた7,438トンのうち、294トンと合算 している。具体的なものは何か。
大久保減量推進係長	まず、可燃系粗大ごみ、布団などの254トンと、有害ごみ の40トンの合計で294トンになる。 718トンのほうは、資源化できなかった不燃系粗大ごみ、 ガラなどとなっている。様々なものがあるため、一概に何であ るかとの情報はない。 人口が増えているにも関わらず、40トンと固定して据え置 いても良いのかというところもある。
大江委員	有害物質削減がコスト削減につながるのではないかと推測 したので意見として挙げた。
大久保減量推進係長	有害ごみを可燃ごみに含まれてしまうと、水銀で炉が停止す るということもあり、有害ごみ分別促進のキャンペーンを実施 した。蛍光管をLED置き換えて環境の改善につながるという ところもあるため、ごみだけの問題ではなく、環境全体の問題 にはなっていくと思う。
大江委員	LEDをごみとして排出する場合の扱いはどうなっている のか。
小野ごみ対策課長	燃やさないごみとして出していただいている。
林委員	集計するときには有害ごみをその他と一緒にしてはいけない のではないかと。有害ごみは特殊な処理をされている。
石原委員	コストの問題が出たが、古紙もだぶついている。価格はどう なっているのか。

(審議過程) 主な発言等

小野ごみ対策課長	<p>3か月に1度の、時価を参考に価格の見直しを行っている。古紙も売却価格がかなり下がってきているので、近い将来、有価物ではなく廃棄物になる可能性が高いと言われている。</p> <p>集団回収は今後も続けていかなければならないと思っているが、業者に買い取りされなくなった場合に、市としてどう関わっていくかが今後の課題であると考えている。</p>
林委員	<p>14、15ページのごみ処理体制、回収頻度の議論などをする機会がなかったが、その辺はどう考えているのか。例えば15ページの拠点回収、直営週2回が結構あるが、ペットボトルのキャップに対し週2回とは頻度が多くないか。ごみ処理コスト見直しの対象にしてもよいのではないかと思うが。</p>
小野ごみ対策課長	<p>収集及び回数の頻度については、回数を増やせばルートも変わってくるため、委託業者の場合はそのコストがかかってくる。当然台数を増やす必要があるところも出てくる。そういったところも踏まえて、コストについての検討は続けていかなければならない。</p> <p>収集回数を減らすとごみ量減ると一般的に言われている。これは、家庭内で保持する期間が延びるためである。コストと減量を考えたうえで、今後の課題だとは認識している。</p>
林委員	<p>個人的には、収集回数は減らしても良いと思う。今後審議会の議題として挙げることを希望する。コストをかけてやる必要があるかということを確認していただきたい。</p>
小野ごみ対策課長	<p>多様な市民のニーズを考慮して決めていきたい。ごみ資源化推進に努力されている市民からすれば、回数を減らしてもあまり影響はないのかもしれない。ただ、今の段階で、まだまだ理解いただいてない、減量を意識されていない市民がいる中では、さまざまを考慮しながら、市民から意見を聞いたうえで最適な収集回数を考えたい。</p>
林委員	<p>公民館等で拠点回収を行っている。そこに週2回行ってペットボトルキャップを集めているが、それほど集まっていないのではないか。最適な収集頻度を模索していただきたい。</p>

(審議過程) 主な発言等

小野ごみ対策課長	ペットボトルキャップの回収は、それだけを集めに行っているわけではなく、他の回収と同時に行っているため2回となっているだけである。
多田委員	拠点は行政が回収するもので、そちらの回収頻度を減らしても、結局は戸別収集で排出されるから、市の負担は変わらないということか。 頻度を減らす一方で、様々な事業者に自主回収をお願いしていくほうが良いのではないかと思う。戸別収集、拠点回収のどちらにしても行政から費用が出ていく。拠点の回収頻度を段階的に減らしていきつつ、事業者へをお願いをしていくほうが良い。
林委員	今までやってきたことを大胆に変えることは難しいと思うが、段階的に変えていくことができれば良いと思う。 また、直営の職員は収集業務ではなく、ごみの減量について考えるような業務に就いていただきたいと思う。
岸野委員	ペットボトルの店頭回収が少ない。
岡山会長	民間にお願いすることには限界がある。やはり市がお願いして拠点となっていただくことになる。 他に何かあるか。
多田委員	粗大ごみの料金改定に関する案内はしないのか。
大久保減量推進係長	基本計画に記載がある。 ただし、粗大ごみに関しては、適正な料金設定をするための条例改正であるため、計画で記載をするだけではなく、一般市民向けの広報媒体に記載する内容ではないと判断している。
岡山会長	処理券が200円からということも変わらず、処理計画としては記載する必要はないと思う。 それでは、令和2年度小金井市一般廃棄物処理計画(案)についての審議はここまでとしたい。 今回いただいた修正の提案等と、今後の細かい修正に関して

(審議過程) 主な発言等

	<p>は、会長・副会長に一任していただく。その後事務局と調整のうえ、答申に向けた手続きを進め、3月6日(金)9時より会長において市長に答申する。</p> <p>答申した基本計画と処理計画については後日事務局から委員の皆さんに郵送してもらおう。</p> <p>予算成立を条件としている箇所等については、答申後に調整する可能性があることは、あらかじめご了承ください。</p> <p>また、新年度に入って、任期中に審議会を1回開催する方向で考えているが、開催日程については、事務局から改めて通知させていただきます。</p> <p>それでは、以上をもって、本日の審議会を終了する。</p>
--	--